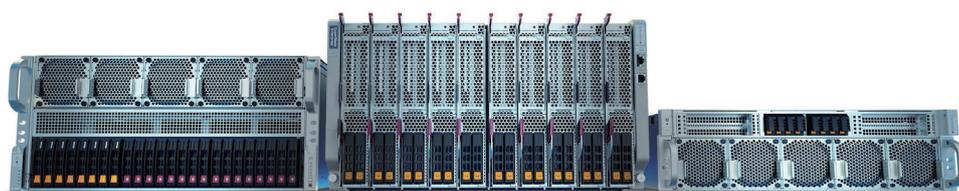


エンタープライズ AI を加速する

エンタープライズ AI のための最適な GPU システム選定ガイド



はじめに

AI の急速な進化により、さまざまな業界の企業がビジネスオペレーションを強化し、データから収益を生み出すことが可能になっています。本ホワイトペーパーでは、Supermicro が提供する業界をリードする GPU システムの製品群と、それらを NVIDIA のさまざまな PCIe GPU と組み合わせることでワークロードに最適化し、ROI（投資対効果）の最大化とエンタープライズ AI 導入の簡素化を実現する方法について紹介します。

あらゆる産業における AI の可能性

AI の急速な進化と導入の加速により、組織のビジネスの進め方が大きく変わりつつあります。強力な事前学習モデル、AI 支援アプリケーション、そしてフルスタックソリューションの普及により、すべての業界・企業が、高度な AI 機能へのアクセスを通じて新たな可能性を模索しています。また、ハードウェアとソフトウェアの革新によって、計算能力、エネルギー効率、スケーラビリティが飛躍的に向上しています。これらの進歩は技術的な障壁を低くし、AI の導入を加速させ、企業が業務プロセスを効率化し、データからこれまで以上に効果的に価値を創出できるようにしています。

高まるエンタープライズ AI の需要

AI を支える技術革新がより身近になるにつれ、企業は AI の導入方法を再考し始めています。今後 3 年間で、92% の企業が AI への投資を増やす計画を立てています。しかし、こうした投資の急増にもかかわらず、AI が業務フローに完全に組み込まれ、継続的に大きなビジネス成果を生み出している「成熟した」段階にあると答えたリーダーは、わずか 1% にとどまっています¹。

AI 戦略は企業によって大きく異なります。一部の企業は、自社で AI モデルをトレーニングしており、これは大規模で専門的なインフラを必要とします。一方で、他の企業は事前学習済みのモデルをファインチューニングし、既存の設備に容易に統合できる業界標準のハードウェアを活用しています。また、公的またはクラウド上の専用モデルの利用が制限される企業は、オンプレミスで AI インフラを構築しなければならない場合があります。インフラの構築を必要とせず、API を通じてワークフローに AI を組み込むことを目指す企業も存在します。こうした中、企業はあらかじめ構築された業種別の特化モデルを活用することで、導入の複雑さを軽減し、コスト効率の高いソリューションを求めています。このように、AI 導入のハードルは着実に下がりがつつあります。

¹ [Superagency in the workplace: Empowering people to unlock AI's full potential – McKinsey, Jan 2025](#)

一方で、エンタープライズ AI を支えるためのローカライズされた GPU アクセラレーテッドインフラへの需要が高まっています。特に、責任ある AI の活用やプライバシー、ガバナンス、コンプライアンスが重要視される業界では、この傾向が顕著です。企業が AI に求めるものは、「スケーラブルで、アクセスしやすく、導入の障壁が低い AI の実現」です。複雑さを最小限に抑え、導入のハードルを下げ、コストを管理しながら、AI を業務に自然に組み込んでいくことが、企業にとっての重要な課題となっています。

エンタープライズ AI にはモジュール型のアプローチ

AI が進化を続け、エンタープライズでの利用が広がるにつれて、多くの企業が「最新世代の PCIe ベース GPU を活用した加速システムによるモジュール型・高性能インフラ」を模索しています。PCIe (Peripheral Component Interconnect Express) は、複雑で特殊なコンポーネントを必要とせず、AI へのアプローチを柔軟かつ経済的に実現する手段です。

また、企業のニーズに応じて計算環境を適応・拡張できる点も大きな利点です。PCIe インターフェースの標準化された特性により、GPU を密集させたオンプレミスクラスターから分散型エッジノード、さらにはオールインワンの開発プラットフォームに至るまで、幅広い導入モデルをサポートできます。これにより IT チームは、自社の性能要件・電力使用量・設置スペースに最適なソリューションを構築できます。さらに、Supermicro の柔軟なシステムと NVIDIA の強力な GPU を組み合わせることで、企業は業界規模・アプリケーションを問わず、導入やワークロードの要件に応じた AI インフラを自由にカスタマイズできます。



エンタープライズ AI の焦点

エンタープライズ AI について議論する際には、単に機械学習・自然言語処理・コンピュータビジョンといった AI 技術の広範な採用と、既製の AI ツールを企業の基幹システム・プロセス・ワークフローに統合することを区別することが重要です。コンシューマー向け AI は、個人レベルで比較的一般化されたタスクに対応します。一方、エンタープライズ AI は、組織内の特定の業務を大規模に支援するよう設計されており、運用・顧客サービス・サプライチェーン管理・意思決定支援など幅広い領域を対象とします。

また、多くのエンタープライズ AI ワークロードの範囲も考慮すべきです。これらは大規模な AI 研究開発（膨大なデータと計算資源を使った基盤モデルの学習など）とは異なり、既存の事前学習済みモデルを活用してドメイン固有の課題を解決することに重点を置いています。

大規模言語モデルを開発する研究機関は、GPU クラスターや大規模データセンター、強力な冷却インフラが必要ですが、小売や銀行の IT チームは、既存のモデルをファインチューニングして顧客サービス向けチャットボットを構築しています。また、デザイン会社では画像やグラフィック制作に生成 AI を活用しています。

このように必要なインフラの規模は大きく異なります。さらに、企業が基盤モデルの学習を超えて現実の導入段階に移ると、エージェント型 AI (agentic AI) や知能エージェントの統合が日常業務を変革し始めています。これらは事前学習済みモデルを基盤とし、既存ワークフローに組み込まれることで、自律的にタスクを完了し、ユーザーと対話し、状況に応じて適応します。結果として、分析にとどまらず実行へと AI の役割が拡大しているのです。

こうしたエージェント型 AI は、業務の効率化、顧客体験のパーソナライズ、予測型の意思決定支援などを通じて、データを迅速かつ効果的に成果へと変換します。つまり、AI がビジネス変革の中核となり、すべての企業を「AI 企業」へと進化させ、長期的な戦略目標の達成を後押ししているのです。

エンタープライズ AI の課題

こうした進歩は非常に大きな可能性を秘めています。企業がエンタープライズ AI を効果的に導入するには依然として大きな課題があります。特に、高性能コンピューティング（HPC）やグラフィックス／メディア処理など、AI 以外のワークロードを併せて扱う必要がある場合です。最大のハードルのひとつは、これらのワークロードを業務プロセスに統合できるよう、適切なインフラを戦略的に整備・配置することです。これは投資対効果を最大化するために慎重な計画が求められる取り組みです。特に、事前学習済みモデルをファインチューニングする際に重要となるデータの前処理やアノテーションを支える効率的なシステムやパイプラインの構築は不可欠です。

さらに、AI を既存の IT インフラにどう統合するかも重要です。多くの企業にとって AI は独立した環境ではなく、既存の計算資源・ストレージ・ネットワーク資源と連携して動作する必要があります。そのため、業務を中断させることなくスケーラビリティと効率性を確保するためには、既存インフラとの整合性を慎重に考慮する必要があります。

こうした大きな課題を踏まえると、企業には柔軟でスケーラブルな AI 基盤が求められます。つまり、適切なハードウェアを基盤とし、環境に合わせたサイズと構成で、性能・スケーラビリティ・統合性を実現できる基盤です。さらに、それはコスト効率に優れ、進化するニーズに適応できるものでなければなりません。そのためには、柔軟性のある AI システムと GPU の幅広い選択肢が不可欠です。

NVIDIA GPU を搭載した Supermicro システム：大規模エンタープライズ AI の柔軟性と性能

エンタープライズ AI の課題を解決するには

エンタープライズ AI の課題を解決するには、強力なインフラだけでは不十分です。ハードウェアの性能と、企業ごとの運用・環境・パフォーマンス要件との整合性が不可欠です。効率的でコスト効果の高い AI ソリューションには、スケーラブルな性能、柔軟なシステムアーキテクチャ、モジュール設計、そして最適化された電力・冷却管理が求められます。

以下では、Supermicro システムがどのようにこれらの要件を満たし、性能と効率の最適なバランスを実現して、成果をより早く導き出せるかを紹介します。

拡張可能なパフォーマンス

Supermicro は、企業の AI およびデータ需要の増大に対応するために、コンピューティング能力が拡張できるシステムを設計しています。これらのシステムは、GPU と CPU、あるいは GPU 同士の間で高速な帯域幅を実現する PCIe インターコネクトを活用しています。従来のデータセンター環境やクラスター規模での展開において最大の処理密度を実現するため、以下のような複数の GPU に最適化されたシステムを提供しています：

- 5U 8-GPU または 10-GPU 構成の SYS-522GA-NRT
- 4U サイズの NVIDIA MGX™ RTX PRO Server
- 1 ラックあたり最大 120 GPU まで対応可能なマルチノード SuperBlade® プラットフォーム

これらはスケールアウトに対応した高速ネットワーキングも備えており、規模の拡大に応じた柔軟な接続が可能です。GPU アクセラレーションとバランスの取れたコンピューティング性能が求められる場合には、「2U MGX システム」や「Hyper ファミリー」といった標準的なラックマウント型の構成が、最大 4 基までの GPU を搭載可能で、フラッグシップ級の性能と柔軟性を提供します。

また、効率性と熱性能が重要となるネットワークエッジ（たとえばエッジ AI 推論）においては、1 ～ 2 基の GPU を搭載可能なコンパクトかつ奥行き短いシステムが使用され、リクエストの発生源に近い場所で処理することで、より良いユーザー体験を実現します。このようなスケーラビリティにより、企業は特定の AI ワークロードに必要なアクセラレーションを実現しつつ、既存のインフラを最小限の変更で活用することが可能になります。

柔軟なシステムフットプリント

Supermicro は、さまざまな環境に適した多様なサイズの AI インフラを提供しています。従来のラックマウント型システムは、2U・4U・5U のフォームファクターで提供され、既存の IT 設備室に容易に統合可能です。

一方、小売業やスマートシティなど、エッジでの AI 推論が求められる環境では、Compact Box PC SYS-E403-14B-FRN2T のようなシステムが、リクエストの発生源に近い場所で GPU アクセラレーションを提供し、より優れたユーザー体験を実現します。また、従来のコンピューティングインフラを設置できない、あるいは現実的でない環境では、SYS-532A-W のようなワークステーションが有効です。このモデルはポータブルでデスク下にも収まるフォームファクターながら、データセンター並みの性能を発揮し、オフィス、研究所、教育機関などに最適なソリューションとなります。



モジュール設計

Supermicro のモジュール型 Building Block Solutions® アーキテクチャは、システムレベルで高い柔軟性を提供し、ワークロードに応じたカスタマイズが可能です。具体的には、GPU、CPU、RAM、PCIe スイッチ、ストレージ、ネットワーク、冷却方式、電源ユニットなどを、顧客の要件に応じて最適に構成できます。このアプローチにより、企業は必要な機能だけを備えたシステムを構築できるため、不要なコンポーネントにコストをかけることなく、コスト効率の高い導入が実現します。柔軟性と最適化を両立するこの設計は、多様化・高度化する AI やエンタープライズワークロードに対応する上で、大きな強みとなります。

電力と熱効率の最適化

Supermicro のシステムは、電力効率と熱管理の最適化を追求して設計されており、PCIe GPU のような高性能コンポーネントが最大限の性能を発揮できるようになっています。エアフロー、コンポーネントの配置、電力供給設計を綿密に最適化することで、さまざまな導入シナリオに対応可能です。

例えば、3U SYS-322GA-NR や 2U SYS-212GB-NR のような密度の高いエッジシステムは、エッジデータセンターやキャビネット環境においても強力な GPU アクセラレーションを実現します。一方、4U や 5U のマルチ GPU サーバー（例：SYS-522GA-NR）は、既存の空冷データセンターに大きな変更を加えることなく、ラックあたりの GPU 密度を最大化します。このように、システム全体の冷却性能と電力効率に対する徹底した配慮により、小規模なエッジ展開から大規模な高密度 AI 推論クラスターに至るまで、さまざまなパフォーマンスレベルや環境での安定運用が可能となります。

PCIe : エンタープライズシステムの多用途な基盤

Supermicro のシステムは、エンタープライズ AI における多用途かつスケーラブルな基盤を提供します。AI 推論やモデルのファインチューニングから、エッジ AI、AI 支援によるグラフィックス処理、メディア処理、トランスコーディングに至るまで、幅広い用途に対応可能です。Supermicro の PCIe GPU システムは、電力・熱・物理的制約に柔軟に適應できる設計・カスタマイズ性に加え、モジュール式の拡張性を備えており、あらゆる規模のエンタープライズ AI インフラに最適な構成要素（ビルディングブロック）となります。

企業が AI ワークロードを拡大し続ける中で、これらのシステムは、進化するニーズに対応できる体制を整えており、高いパフォーマンス、柔軟性、信頼性を提供することで、AI 活用の成功を強力にサポートします。



PCIe GPUによるエンタープライズ AI ワークロードの強化

バランスの取れた AI 性能に最適な PCIe

エンタープライズ向けの AI ワークロードは、特定業務に最適化した事前学習モデルのファインチューニングから、エッジ環境での低遅延な推論処理、さらには AI によるグラフィックスレンダリングや映像トランスコーディングまで多岐にわたります。これらの多様なニーズに対して、PCIe GPU はバランスの取れた基盤を提供します。多くのエンタープライズ用途に対して十分な性能を持ちつつ、大規模システムに必要な高コストや複雑性を回避できるのが特徴です。既存のインフラに統合しやすく、入手性や柔軟性にも優れているため、効率的かつ信頼性の高い AI 導入を目指す企業にとって、実用的な選択肢となっています。Supermicro の NVIDIA 認定システムでは、以下のような高性能 GPU を搭載可能です：

- NVIDIA RTX PRO™ 6000 Blackwell Server Edition
- NVIDIA H200 NVL
- NVIDIA L40S
- NVIDIA L4

これらを活用することで、企業は AI トレーニング、推論、その他のデータ集約型ワークロードを、研究環境・本番環境の双方でスピーディに展開できます。

Enterprise AI ファクトリー認定設計

NVIDIA のエンタープライズ AI ファクトリー認定設計は、オンプレミスでの AI インフラ構築に向けたフルスタックの設計指針を提供します。この認定設計は、以下のような NVIDIA テクノロジーを中心に構成されています：

- NVIDIA RTX PRO™ 6000 Blackwell GPU 対応の NVIDIA 認定システム
- NVIDIA Spectrum-X™ イーサネット ネットワーキング
- NVIDIA BlueField® DPU
- NVIDIA 認定ストレージ
- NVIDIA AI Enterprise ソフトウェアスイート

これにより、完全なデータセンターインフラを迅速に構築・展開し、AI ファクトリーからの収益化を早期に実現することが可能となります。さらに、RTX PRO サーバーを活用したスケーラブルな AI ファクトリー構築に関するベストプラクティスも提供されており、企業が拡大する AI ビジネスニーズに効率的かつ信頼性高く対応できるようサポートします。また、NVIDIA NIM マイクロサービスや NeMo フレームワークへの対応により、デジタル AI エージェントの導入やマルチモーダル推論パイプラインの展開を加速させることも可能です。これにより、企業は次世代の AI 活用を実現し、競争力を強化できます。

ワークロード	RTX PRO 6000 Blackwell (モデルサイズ : 最大 70B) / L40S (モデルサイズ : 13-70B)	H200 (モデルサイズ : 70B-175B)	L4 (モデルサイズ : 最大 7B)
AI	テキストから画像／動画生成 AI エージェント型／生成 AI ファインチューニング学習／推論	AI トレーニング 大規模言語モデル (LLM) の 推論と検索拡張生成 (RAG)	エッジ AI 推論 + 映像と AI の融合
HPC	計算科学とデータ分析	HPC とデータ分析	—
メディア & グラフィック	Omniverse AI レンダリングとグラフィック	—	モバイルクラウドゲーミング 仮想ワークステーション

Supermicro : AI ファクトリーの迅速な導入を支援

Supermicro は NVIDIA のエンタープライズ AI ファクトリー認定設計に容易に統合できるインフラを提供することで、完全な AI ファクトリーの構築を簡素化します。Supermicro は、最新 GPU 技術の市場投入をいち早く実現する実績があり、企業は RTX PRO 6000 Blackwell GPU の力をいち早く活用することが可能です。これにより、AI ファクトリーの早期収益化が期待できます。Supermicro の Data Center Building Block Solutions® (DCBBS) は、Blackwell アーキテクチャに基づくエンタープライズ AI ファクトリーの認定設計との連携に最適で、以下を含む包括的なサポートを提供します：

- データセンター設計コンサルティング
- ソリューション検証
- 専門スタッフによるオンサイト展開サービス

これにより、通常 12 ~ 18 か月かかる導入期間を最短 3 か月に短縮することも可能です。現在、Supermicro は RTX PRO 6000 Blackwell GPU に最適化された 20 種類以上のシステムを提供しており、旧世代 GPU と比べて大幅な性能向上が見込まれます。これらには以下が含まれます：

- 最大 8 基の GPU を搭載可能な 5U・4U ラックマウント型システム
- データセンターおよびエッジ向けの MGX ベースシステム（新しい RTX PRO サーバーデザイン含む）
- 高密度マルチノード「SuperBlade」プラットフォーム
- タワー型およびラックマウント型ワークステーション

また、Supermicro は NVIDIA と連携し、エンタープライズ AI ファクトリーの基盤となる NVIDIA 認定システムの開発にも取り組んでいます。※詳細については、Supermicro または NVIDIA の公式発表をご確認ください。

エッジでの AI 活用を加速

Supermicro は、RTX PRO 6000 Blackwell GPU のパワーをエッジに近づけるための多様なアーキテクチャも提供しています。

これらのコンパクトで効率的なシステムは、2U サイズで最大 4 基、3U サイズで最大 8 基の GPU を搭載可能で、AI 推論、産業オートメーション、小売分析など、分散型環境における用途に最適です。さらに、RTX PRO 6000 Blackwell アーキテクチャは前世代と比較して、大幅な性能向上とメモリ容量の増加を実現しており、1 つの GPU でより多くのデータを処理可能です。これにより、必要なサーバー台数を削減でき、エッジ AI 導入にかかるコストと複雑さを大幅に低減します。結果として、高性能かつ経済的なエッジ AI ソリューションが可能になり、企業はより迅速かつ柔軟に AI を活用できるようになります。

さまざまな業界に対応する柔軟性

Supermicro の PCIe ベースのアーキテクチャは、高密度ラックマウント型サーバーからコンパクトなエッジ向けシステムまで構成可能です。また、業界特有のニーズに合わせたカスタマイズが可能で、医療、金融、製造、産業用オートメーション、小売、デジタルコンテンツ制作（シミュレーション、レンダリング、生成 AI）などあらゆる業界における AI 活用に最適です：

NVIDIA PCIe GPU : エンタープライズ AI ファクトリーを支える力



NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell

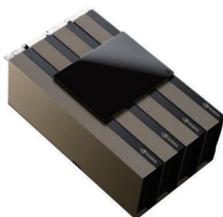
NVIDIA RTX PRO™ 6000 Blackwell Server Edition は、AI およびビジュアルコンピューティングに最適化されたユニバーサル GPU です。Blackwell アーキテクチャに基づき、マルチモーダル AI 推論、物理 AI、科学計算、グラフィックス、映像処理などにおいて、比類ない演算性能とメモリ容量を提供します。

- 96GB GDDR7 メモリ
- 第 4 世代 RT コア、第 5 世代 Tensor コア
- FP4 および INT4 のデータ形式をネイティブサポート ⇒ 推論性能を最大 2 倍高速化

- Multi-Instance GPU (MIG) に対応 ⇒ 複数の AI ワークロードを並列処理可能で、仮想化や共有環境にも最適

幅広い AI、HPC、グラフィックスワークロードに柔軟に対応可能な、混合ワークロード向けの理想的な GPU です。

NVIDIA H200 NVL



NVIDIA H200 NVL は、Hopper アーキテクチャをベースとした GPU で、高性能 AI や HPC ワークロードを加速します。2 基の GPU を NVLink Bridge で接続すれば、最大 900GB/s の GPU 間通信速度を実現します。

- 141GB の HBM3e メモリ
- 4.8TB/s のメモリ帯域幅
- 大規模データセット処理や高度な RAG パイプラインに理想的
- NVIDIA AI エンタープライズに対応 ⇒ データ中心の AI ビジネス環境への導入が容易

NVIDIA L40S



NVIDIA L40S は、Ada Lovelace アーキテクチャをベースにした多目的アクセラレータで、AI とグラフィックスの両方のワークロードに対応します。

- 第 4 世代 Tensor コア、第 3 世代 RT コア
- FP8 / FP16 高スループット
- メディア処理に優れ、推論・トレーニング・グラフィックス・ビデオワークロードに対応
- NVIDIA AI エンタープライズに対応 ⇒ 業務アプリへの AI 統合が容易

NVIDIA L4



NVIDIA L4 GPU は、コンパクトで省電力な PCIe アクセラレータで、エッジ展開や低電力環境に最適です。

- 72W シングルスロット設計 ⇒ ワークステーションや小型サーバーに最適
- 第 4 世代 Tensor コア、FP8 対応、AV1 対応メディアエンジン搭載
- 24GB GDDR6 メモリ
- AI、グラフィックス、ビデオワークロードを効率的に処理
- NVIDIA AI エンタープライズ対応 ⇒ スペース・電力に制約のある環境でもスケーラブルな AI 導入が可能

主なユースケースには、レコメンデーション（推薦システム）、音声 AI アバターアシスタント、チャットボット、ビジュアル検索、コンタクトセンターの自動化などがあります。

HPC、グラフィックス、メディア、エンタープライズ AI の融合

PCIe ベースの GPU アクセラレーテッドインフラは、AI 用途にとどまらず、メディア制作、デザイン、研究開発、顧客対応、業務運用において AI を活用したツールを導入する企業にもメリットをもたらします。

NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition は、グラフィックレンダリング、ストリーミング、クラウドゲーミング、ビジュアルコンテンツ開発に最適です。NVIDIA H200 は、工学シミュレーション、科学研究、ビッグデータ分析などの HPC（高性能コンピューティング）用途において、他に類を見ない並列計算性能を提供します。

NVIDIA L4 は、省電力・省スペースが求められる環境において、トランスコーディング、仮想ワークステーション、モバイルクラウドゲーミングに適しています。複数または混合ワークロードを日常的に扱う企業にとって、RTX PRO 6000 Blackwell のようなユニバーサル GPU は、AI および非 AI タスクの両方に対応できる万能性を備えており、理想的な選択肢となります。

AI と並列計算の融合が進む今、HPC やグラフィックス分野も AI による加速と効率化が不可欠となっており、1 台の GPU でマルチモーダルな処理を可能にすることで、コスト削減と物理的なインフラの効率化が図れます。

エンタープライズ AI : 柔軟でスケーラブルなソリューション

Supermicro は、AI・グラフィックス・HPC 展開を加速するために設計された、エンタープライズ対応のインフラストラクチャを提供しています。

- ✓ 業界最速の製品化スピード
- ✓ グローバルな製造体制
- ✓ NVIDIA GPU への業界初対応と検証

これにより、企業は AI インフラをより迅速に導入し、早期の ROI（投資対効果）を実現できます。

迅速な導入、柔軟性、優れた供給体制

Supermicro は、アジャイルな研究開発体制と、NVIDIA との密接なパートナーシップにより、新しいプラットフォームを数週間単位で市場投入できる体制を整えており、新しいハードウェアや顧客の個別ニーズにも迅速に対応できます。

Supermicro の NVIDIA PCIe GPU 搭載エンタープライズ AI プラットフォームは、NVIDIA AI エンタープライズ ソフトウェアスタックとの完全互換性を保証した NVIDIA 認定・認証済みシステムとなり、導入の迅速化、パフォーマンスの最適化、持続的な AI 主導のイノベーションを実現するための理想的なソリューションです。

詳しくはこちらをご覧ください：supermicro.com/pcie-GPU

NVIDIA-Certified™ システム	
RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition	AS -5126GS-TNRT2* , SYS-522GA-NRT* , SYS-422GL-NR* , AS -2115HV-TNRT (Max-Q)* *NVIDIA 認定システム。NVIDIA-Certified は現在進行中です。
H200 NVL	SYS-522GA-NRT , SYS-521GE-TNRT , AS -5126GS-TNRT2 , AS -5126GS-TNRT
L40S	AS -2115HV-TNRT , SYS-521GE-TNRT , SYS-741GE-TNRT , SYS-421GE-TNRT , SYS-421GETNRT3 , SYS-621C-TN12R , SYS-221GE-NR
L4	SYS-621H-TN12R , SYS-741P-TR

お問い合わせ：スーパーマイクロ株式会社 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 20-1 渋谷インフォスター 21 階
電話：03-5728-5196 FAX：03-5728-5197 Email：Sales_Inquiry_JP@Supermicro.com